

# 兵庫県相生市における観光案内所設立と牡蠣産地活性化に関して

滋賀県推薦都市農村交流アドバイザー（分野：観光交流）

福島 征二（一般社団法人グリーンカラー 代表理事）

## 1 取組概要

「相生市観・交・商連携型地域活性化事業計画 ～相生市観光まちづくりプラン～」の個別アクションプランとして、相生駅前総合情報発信施設づくりと「相生かき」のブランディング強化に取り組んだ。

## 2 取組前の地域の状況

（相生駅前総合情報発信施設）

相生市は、新幹線停車駅に幹線道路が近く、交通結節点としての利便性が高い。また、西播磨への入り口、研究施設 Spring-8 の玄関口でもあり、人々の往来はあるものの、観光案内機能が弱く、駅前商店街の活性化や市内の観光消費創出に繋がっていなかった。

（「相生かき」のブランディング強化）

相生市は、全国 15 位のかきの生産量を誇るが、全国のかき産地や両隣に位置する赤穂市やたつの市のかき産地に比べ知名度が低い。しかし、市民意識には広く浸透しており、「冬場の牡蠣を活用した観光客誘致」に対して期待する声が多い。

## 3 具体的なアドバイス内容

（相生駅前総合情報発信施設）

情報発信拠点として「発信力」と「交流力」を際立たせるために、

- ・ Spring-8 からの発信、Spring-8 との交流
- ・ 西播磨の広域観光拠点としての磨き上げ
- ・ 外国人対応施設としての機能の付与
- ・ 相生駅前から市中への人の流れの創出

に取り組むための施設整備と体制づくり、人材育成についてアドバイスした。

（「相生かき」のブランディング強化）

「相生かき」のブランド浸透に向けた新価値を提供するプロモーション活動として、

- ・ 「相生牡蠣×料理人×消費者を結ぶ。美味しい 10 日間」の大阪の飲食店 7 店における実施
- ・ 料理人による産地見学ツアーの実施
- ・ プレス発表会および芸能人、インフルエンサー等を招いた試食会の開催

に行政、漁協、事業者と協働して取り組んだ。

## 4 地域の変化

(相生駅前総合情報発信施設)

観光案内、路線バス案内、駅レンタカー、休憩ラウンジ、無料Wi-Fiスポット、トイレ、レンタサイクル、車椅子貸出、Spring-8情報、地域情報、飲食店・宿泊情報、特産品販売・イートイン、切手・ハガキ販売、図書返却など「駅前にあつたらいいな」を集めた「あいおい情報ラウンジ（相生駅前総合情報発信施設）」のオープンにつながり、駅前商店街や市内観光施設などへの送客と広域観光などの地域連携が始まり、駅前に人が集う様相が生まれている。

(「相生かき」のブランディング強化)

プロモーション活動を契機に、新たな販路や継続的な取引、メディア露出が増えたことにより、生産者の意欲向上に繋がっている。

## 5 取組の効果等

(相生駅前総合情報発信施設)

駅前や市内に無かった情報発信機能が整備されたことにより、地域全体の案内窓口としての存在感と地域連携のスタートが変化のきっかけになった。

(「相生かき」のブランディング強化)

既存の取組を尊重しつつ、新しい取組にも主体的に取り組んでいただけるように理解を深めることで、新たな出会いや経験を積み重ねていくことが変化のきっかけになった。

## 6 アドバイザー自身のPR

アドバイザーがいなくても自走できるように、行政・事業者・住民との協働事業を重視しています。

また、プレイヤーの創出が困難な地域では、所属企業や団体の拠点化または新会社設立など事業拠点化を図り、自立かつ継続的な取組に繋げています。



情報発信拠点「あいおい情報ラウンジ（相生駅前総合情報発信施設）」



「相生かき」のプロモーション活動